

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年2月5日 金曜日

## カスケードLOVを使う

タイプが**選択リスト**または**ポップアップLOV**のページ・アイテムにたいして、**カスケードLOV**のプロパティを指定することにより、リストされる一覧を、親となる別の選択リストやページ・アイテムの値にしたがって変更することができます。



カスケードLOVのテストに使用した表とテストデータは、以下のクイックSQLのモデルから生成しています。

```
# prefix: clov
# language: ja
# genpk: false
projects /insert 3
  id num /nn
  name

dept /insert 9
  id num /nn
  name

emp /insert 27
  id num /nn
  project_id num /nn /values 1,2,3
  dept_id num /nn /values 1,2,3,4,5,6,7,8,9
  name
```

プロジェクトの表CLOV\_PROJECTSと担当部署の表CLOV\_DEPTがあり、担当職員の表CLOV\_EMPはプロジェクトと担当部署の双方を参照しています。カスケードLOVのテストに使用できるデータを生成するために参照制約の定義は行っていません。通常は外部キー参照の制約は付加します。

確認に使用したアプリケーションのエクスポートを[こちら](https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/cascading-lov-test.sql)に置きました。クイックSQLで表を作成した後、アプリケーションをインポートすると手元で動作確認も可能です。

<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/cascading-lov-test.sql>

**プロジェクト**と**担当部署**はタイプが選択リストである**通常のページ・アイテム**の設定になります。**担当職員**の選択リストに**カスケードLOV**の設定を行います。



LOVのSQL問合せに、条件句を含んだSELECT文を設定します。

```
select name d, id r from clov_emp
where dept_id = :P1_DEPT
and project_id = :P1_PROJECT
```

カスケードLOVの親アイテムとして、条件句に含まれるページ・アイテムP1\_PROJECT、P1\_DEPTの選択リストを設定します。これだけで親アイテムの値が変更されたときに、このページ・アイテムP1\_EMPの内容がリフレッシュされます。



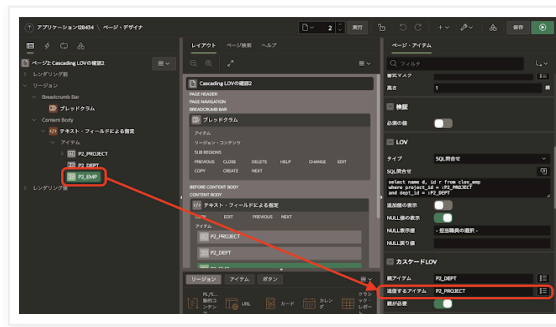
親が必要がONになっているので、P1\_PROJECT、P1\_DEPTのどちらかがNULLの場合は（値が選択されていない）、P1\_EMPのリフレッシュを行いません。LOVのSQL問合せが、条件句に含まれているページ・アイテムがNULLであっても結果を返す場合は、親が必要をOFFにして、必ずリフレッシュを実施させます。

親アイテムに設定されたページ・アイテムは送信するアイテムに含める必要はありません。これらのページ・アイテムはそのままLOVのSQL問合せに送信されます。それ以外のページ・アイテム、例えば、テキスト・フィールドなどをLOVのSQL問合せに使用する際には、送信するアイテムに、そのページ・アイテムを指定します。

プロジェクトの選択リストをテキスト・フィールドに変更してみます。先ほどはページ番号が1でしたが、この例ではページ番号は2です。

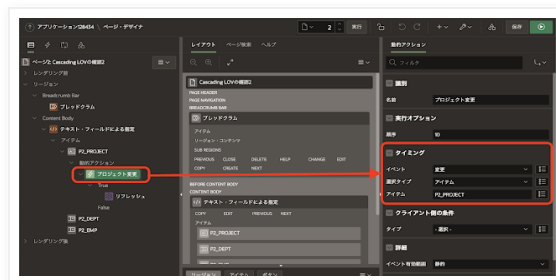


この場合、ページ・アイテムP2\_PROJECTは親アイテムの指定から外し、送信するアイテムとして指定します。

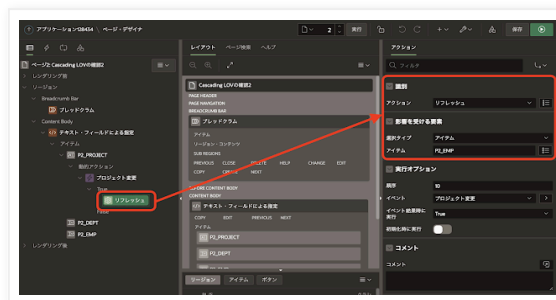


親アイテムとして設定されていないため、ページ・アイテムP2\_PROJECTを変更しても自動的にP2\_EMPのリストはリフレッシュされません。そのため、動的アクションを設定します。

動的アクションが起動される**タイミング**は、ページ・アイテムP2\_PROJECTが**変更**されたときです。



実行される**アクション**は**アイテムP2\_EMPのリフレッシュ**です。



基本的にカスケードLOVとなる選択リストのSQLにはページ・アイテムが含まれるはずなので、共有コンポーネントにすることはないでしょう。親アイテムは通常の選択リストなので、共有コンポーネントのLOVを使うことができます。

以上でページ・アイテムが選択リスト、またはポップアップLOVの場合に設定できる、カスケードLOVの設定についての説明は終了です。

Oracle APEXのアプリケーション開発の一助になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 11:54

共有

[ウェブ バージョンを表示](#)

#### 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---